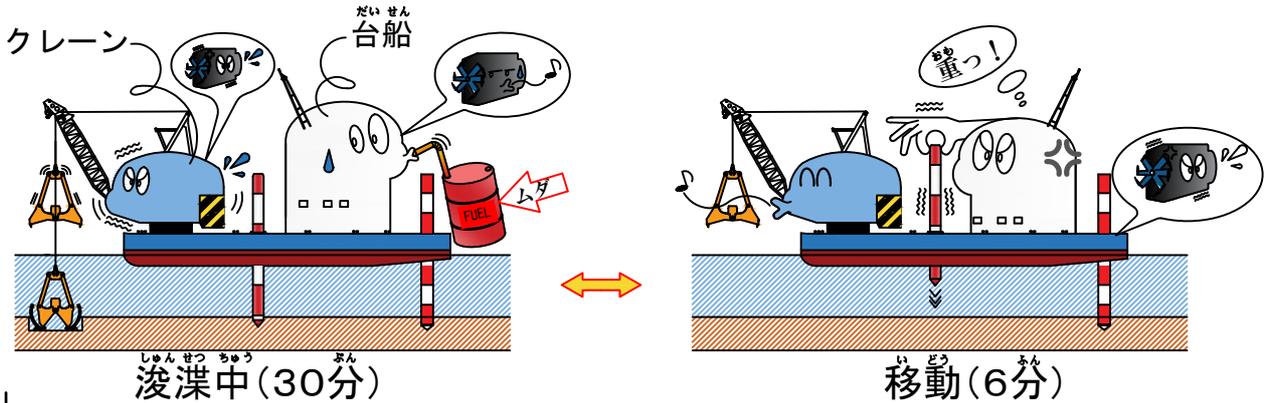


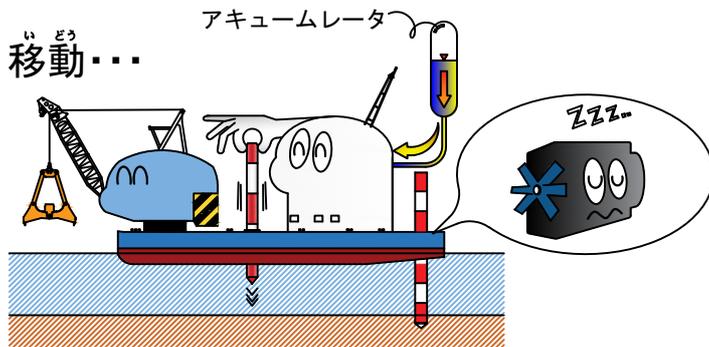
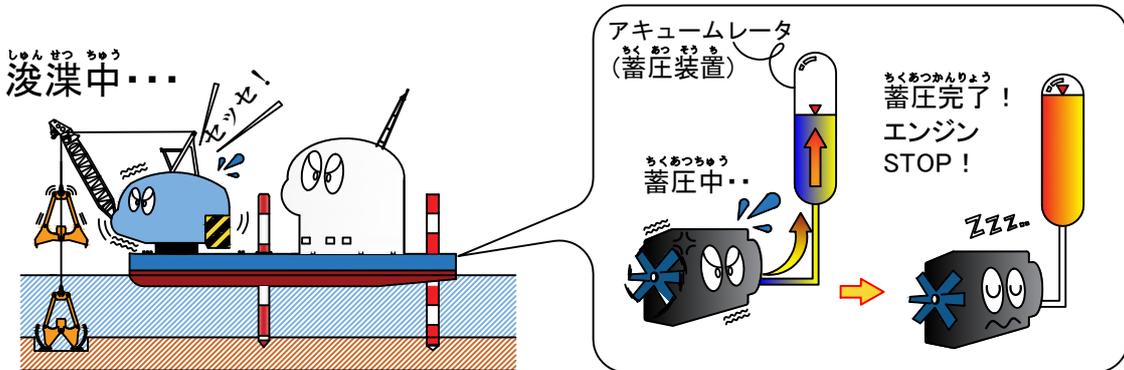
特願2025-036857 蓄圧システム ※特許出願中

浚渫船やクレーン船は台船にクレーンを乗せた構造となっており  
 それぞれ別々のエンジンを持っています。  
 通常の海上工事においてクレーンと台船側の係船装置  
 (スパッド等)は同時に稼働することはありませんが、  
 それぞれ次の工程に備え動力源のエンジンは常に稼働状態です。

浚渫作業を例に考えると  
 クレーン稼働時間約30分→係船装置(スパッド)稼働時間6分  
 の繰り返しなのですが、クレーン稼働時間中の台船側のエンジン(発電機)  
 の待機時間が30分もあり、そこで無駄な燃料を消費しています。



本発明はその待機時間内に次回係船装置が稼働するのに必要な分の  
 油圧作動油をアキュムレータという蓄圧装置に蓄圧。  
 蓄圧が完了したらエンジン(発電機)を停止し燃料を節約します。



係船装置(スパッド)を使用する際は  
 アキュムレータに蓄圧された油圧作動油を  
 使用するのでエンジン動力は必要ありません。

この技術を使用するとグラブ浚渫船やクレーン船等の作業船に搭載される  
 大型発電機を小型の物に変更する事が可能で、燃料の消費量と、  
 排出されるCo2量を大幅に削減する事が出来ます。

